

教職員の皆様へ

「電子メディアとの付き合い方学習ノート（シート）」の活用について

子どもたちを取り巻く状況

近年、スマートフォン、ゲーム機等電子メディア機器が子どもたちの生活に浸透し、長時間利用による生活習慣の乱れが指摘されています。また、平成27年度に鳥取県教育委員会が実施した「インターネットの利用に関するアンケート」調査の結果から、利用の低年齢化が進んでいること、利用によりトラブルを抱えている子どもたちがいることがわかりました。

何らかの機器(※)でインターネットを利用している割合 ※スマートフォン、携帯ゲーム機、携帯音楽プレーヤー等
○小学生(6年生) 80.9% ○中学生(2年生) 86.2% ○高校生(2年生) 96.2%

インターネットを利用して困ったことや嫌なこと(上位4位)

○小学生(6年生)

- ・使いすぎて睡眠不足
- ・知らない人からの連絡
- ・人間関係のトラブル
- ・メール等が気になりスマートフォンを手放せない

○中学生(2年生)

- ・使いすぎて睡眠不足
- ・人間関係のトラブル
- ・知らない人からの連絡
- ・メール等が気になりスマートフォンを手放せない

○高校生(2年生)

- ・知らない人からの連絡
- ・使いすぎて睡眠不足
- ・メール等が気になりスマートフォンを手放せない
- ・人間関係のトラブル

また、家庭でのルールの有無について保護者と児童・生徒には認識に差があることもわかりました。

「家庭で何らかのルールがある」と回答した児童・生徒と保護者の割合の比較

○小学生(6年生)		○中学生(2年生)		○高校生(2年生)	
児童	保護者	生徒	保護者	生徒	保護者
75.0%	94.2%	61.7%	90.3%	37.8%	82.0%
19.2ポイントの差		28.6ポイントの差		44.2ポイントの差	

鳥取県では、子どもたちが電子メディア機器と適切に接していけるよう、これまで児童・生徒や保護者、地域への啓発活動を行ってきました。平成28年度からは、鳥取県 PTA 協議会の提唱する「メディア21:00」運動を共通ルールとして、児童・生徒が安心・安全にインターネットを利用できる環境づくりを地域全体で進めようと校長会や医師会等の賛同もいただきながら取り組んでいます。

※「メディア21:00」運動とは・・・鳥取県の子どもたちは、21時以降は友だちを巻き込むようなLINEなどのコミュニケーションツールやゲームの利用をやめて、相手の時間を尊重しようという運動。

先生方へお願い

この「電子メディアとの付き合い方学習ノート(シート)」(以下「ノート」という。)は、電子メディア機器(テレビ、スマートフォン、パソコン、ゲーム機、音楽プレーヤー等)との上手な付き合い方を学校や家庭で学習できるようにつくりました。このノートを利用して、児童・生徒自身が電子メディア機器の使い方を振り返ったり、使い方について家の人と話し合ってルールを決めたりできるようになっています。また、ノートには家族で話し合う際の参考にしていただくため「保護者のみなさんへ」のページもあります。シートについては、家族に限らず友だちと話し合うこともできるようにしています。

なお、このノートは、電子メディア機器の利用や購入を推奨するものではありません。今現在利用していない場合でも、想像しながら親子で考え、話し合ってもらうことができます。裏面の活用例を参考にいただき、保護者への啓発に御活用ください。

【対象学年】

学習ノート A：小学校 1～3年生、学習ノート B：小学校 4～6年生、学習シート C：中学生・高校生

※学校の実態に合わせて有効に御活用ください。

活用例

※活用例ですので、それぞれの学校の実態に合わせて有効に御活用ください。

学校で…

家庭学習の課題

ショートホームルーム(朝の会、
帰りの会など)で記入

学級活動

・基本的な生活習慣の形成
・心身ともに健康で安全な生活態度の形成
等の学習後に記入

道徳

・節度 ・思慮
・思いやり ・正義、規範等
の学習後に記入

情報モラルの学習

・ネット依存
・個人情報の保護
・SNS等のトラブル
等の学習に活用

家庭で… (学校で…)

家庭(学校)で話し合い、話し合ったことを記入

学校で回収

家庭への啓発

家庭(学校)での話し合いの様子を

- ・学年・学級通信で紹介
 - ・参観日後の学年・学級懇談で活用
- していただくと、なお効果が期待できます。